

「めやす」×「くりっく」プロジェクト

「伝えたい・知りたい日本」：学習シナリオ_上田

タイトル
「ときめき取材記インタビュープロジェクト～伝えたい・知りたい日本」
目標
「くりっくにっぽん」のコンテンツであるインタビュー記事の作成を通して、自分たちが伝えたい・知りたい日本について知る。自分たちで主体的に、扱うテーマ、インタビューの相手、調査内容、記事の内容も話し合いを通して決め、記事を作成する。記事をインターネットに公開するコンテンツとして完成させることを目的とするため、読み手の立場を意識しながらよりよい記事になるように協働し、わかりやすく伝える方法を学ぶ。
学習シナリオ
対象：東京国際大学の「現代日本事情」履修者（日本人学生 37 名・留学生 16 名の混合クラス） ※群馬県立女子大学の留学生 3～4 名も 1 つのインタビューを担当（記事制作活動②～③に参加） 時間数：90 分×2 コマを前半クォーター 7 回、後半クォーター 7 回の計 14 回、28 コマ
①授業オリエンテーション、授業の連絡のための Facebook 登録、友人紹介記事を書くためのインタビュー ◎宿題：自己紹介の投稿（FB に）、友人紹介記事の提出
②友人紹介記事の完成と提出、「くりっくにっぽん」のインタビュー記事を読む課題に取り組む
③読んできたインタビュー記事について発表とディスカッション、インタビュー企画（テーマとインタビューの相手候補者）のブレインストーミング 《ゲスト講義：「くりっくにっぽん」について、インタビューの企画について》
④グループ再編成、テーマ、企画を話し合い→プレゼンの準備
⑤企画プレゼンの説明とプリント 2 枚（企画書& 自他評価シート表裏 1 枚のもの、企画& プレゼンの評価ポイントなど表裏 1 枚）配布、企画の対象・目的・留意点・企画をたてる意義などを再度パワポで示して確認。

「めやす」×「くりっく」プロジェクト

※パワポはグループでひとつ完成したものを提出だが、企画書は全員が書いて出すように指示（グループの話し合いを促す目的）。

⑥テーマ企画プレゼン→投票（ひとり第1～3希望まで3つ選ぶ）

テーマの決定

⑦グループの再編成、インタビューの依頼→アポを取る

インタビューの計画、準備

⑧インタビューイの候補を挙げる（マインドマップを描かせ、決まった3つのテーマから関連する事項をもっと探す→話を聞いてみたい人をそこから挙げるというグループ作業）

⑨インタビュー記事をひとつ選んで読み、感想を書く、

インタビュー依頼準備・実施計画に取りかかる。

⑩インタビューの写真の撮り方

インタビューの依頼文書を書き上げ、チェックを受ける（OKが出たらアポ取りに入る）

インタビュー事前調査と質問を考える

⑪インタビュー依頼（文書作成）&アポ取り、インタビュー準備（事前調査シートに記入し、提出）。

⑫～⑮インタビューの依頼、実践、インタビュー文字起こし、記事作成（作成した記事を読み合う）・修正・事後確認

※ 記事を書く際の注意：タイトル、インタビュー相手の名前、小見出しをつける、写真にも説明を、伝わる文章にすること（例を見せながら）

※ 記事作成が終了したグループは、記事を提出→チェックを受ける→修正→完成した記事の内容確認（インタビューイに送る）・お礼・Web掲載になる場合その承諾、連絡先確認、までを終わらせる。

「めやす」×「くりっく」プロジェクト

「伝えたい・知りたい日本」：3×3+3分析_上田

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに関する語彙、や文章を理解する ・わかりやすく魅力的な記事（文章・構成）とはどのようなものかを理解する ・相手の言っていることを理解する ・記事の構成を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の日本社会・文化を、自身や他者のもつステレオタイプにとらわれることなく捉える、多様な視点をもって個人と向き合い、理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなメディアを使用し情報を読み取り、理解する ・メディアの重要性と危険性を理解する ・さまざまなメディアを通じて発信する、情報を得る方法を知る
できる	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに関する語彙が使用でき、相手にわかりやすく伝え、質問することができる。 ・集めた情報（事前にあたる資料・相手が言ったこと）の中から、必要な内容を選び取り、再構成することができる。 ・企画準備、プレゼン、アポ取り、インタビュー、記事完成後のやりとりなどのためのコミュニケーションができる ・相手に伝わりやすく魅力的な記事が書ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・自国と他国との違いを見つめ、その共通点や相違点を考え、共にそれについて話し合い、理解を深め合うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との協働を通して、教室の外の世界における実践活動として調査を行うことができる ・さまざまなメディアを使用し、情報を集め、発信することができる ・効果的な伝え方を意識しながら記事にまとめることができる
つながる	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見を受け入れ、尊重しながら話し合い、みんなで伝えたいことをまとめることができる ・他者の出したアイデア（テーマやインタビューの相手）を理解し、協働する 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本社会とつながる ・自分の将来の展望とつなげる ・クラスメイトやインタビュー活動の全てでかかわった人たちとつながる 	<ul style="list-style-type: none"> ・記事の公開を通じて、世界とつながる ・インタビューを通じて、教室外の人とつながる
三連携	<p>連携1：関心をもったテーマとつながる 連携2：既に持っている言語・文化・社会的知識や能力とつながる 連携3：テーマに関連した人、もの、情報とつながり、読み手とつながる</p>		

「伝えたい・知りたい日本」：目標分解_上田

個々のタスク	小目標	中目標	大目標
仲間にインタビューする	仲間と交流する	お互いを知り、相手から学ぶ	ときめき取材記の記事を参考にして、自分たちの興味のあるテーマについて、それを知るために最もふさわしい人にインタビューを行い、その内容を仲間と協働で記事に仕上げ、Webへの公開を通じて社会へ発信する
紹介記事を書く	効果的に紹介する方法を学ぶ		
互いにコメントし、評価する			
「ときめき取材記」記事を読む	プロジェクトの全貌を理解する	イメージをつかみ、自分の興味とつなげる	
記事について話し合い、考える	自分たちの興味に目を向ける		
テーマ・インタビュー相手候補を出し合う	良いテーマを考える、話し合う	良いテーマについて、適切なインタビューの相手について協働で検討する	
テーマプレゼンの準備をする	伝わる様に考えをまとめる		
テーマプレゼンをする	うまく伝わる方法で伝える		
テーマを決定する	皆でいいテーマについて考える		
インタビューの依頼→候補再検討	インタビューの準備をする	インタビューを依頼する、行う	
インタビューの計画を練る	交渉をする		
質問を考える	趣旨やねらいを伝える		
インタビューを行う	インタビューを行う		
インタビューの結果をまとめる作業分担をし、作業する	インタビューの結果を仲間と整理する	インタビューの結果を整理する	
インタビューの結果の文字おこし・まとめ			
インタビューの記事を書く	インタビューの記事を書く	インタビューを仲間と協働してよりよい記事に仕上げる	
お互いの記事を読み合う	仲間と協働で、よりよい記事を完成させる		
記事を加筆修正する、レイアウトを考える			
記事を完成させる			
完成させた記事をインタビューイーに送り、確認を取る	記事や内容の最終確認をする	記事や内容の信憑性・妥当性に責任を持つ	

「伝えたい・知りたい日本」：ルーブリック_上田

学習目標	目標以上に達成 1	目標を達成 2	目標達成まであと少し 3	目標達成まで努力が必要 4
協働	仲間とよく協力し合い、活動を行うことができている。メンバー同士の良い点を生かして、それぞれのもつ力×人数以上の成果が上げられている。	仲間とよく協力し合い、活動を行うことができている。メンバーの役割分担がうまくできていて、お互いの長所を生かした活動が行えている。	それぞれのメンバーは役割をこなしているが、 担当する 作業や責任が平等ではない。それぞれのメンバーの長所がうまく生かされていない。	仲間との協力ができていない。それぞれの能力をほぼ生かしていない。
成果物（記事）	インタビューの内容の理解は十分で、自分たちの言葉で理解しやすく読みやすい記事に仕上がっている。特に、上手にその魅力を伝え、相手を引きつける工夫がされている。	インタビューの内容をよく理解し、まとめ、相手に伝わる記事に仕上がっている。記事もわかりやすく、リード、相手の情報、写真の紹介、文章も適切にまとまっている。	インタビューの内容の理解がやや不十分で、伝えたいことはわかるが、記事のまとまりがあまりない。	インタビューの内容の理解は不十分で、内容のまとまりがなく、理解が困難な記事になっている。取材者が伝えなかったことがはっきりしない。
プレゼンテーション	聞く人の関心を引きつけ、理解を深める、わかりやすいプレゼンテーションである。資料は理解を十分に助け、大変効果的で、大変よく準備されている。	聞く人が理解しやすいプレゼンテーションである。資料は理解を助け、十分に効果的で準備されている。	声の大きさや言語的な問題などから聞く人がやや理解しづらいプレゼンテーションである。資料は準備されているが、理解を助ける効果的なものではない。	声の大きさや言語的な問題などから聞く人が理解できない部分が多いプレゼンテーションである。資料は理解を助ける効果的なものとして準備されていない。